

# 一般社団法人 佐賀青年会議所

## 2022年度1月理事会

日 時 2022年 1月 4日 (月)

時 間 19:30~21:40

場 所 佐賀青年会議所会館 2 階

### 1. 開会の辞

副理事長 西村 誠剛 君

### 2. JCI Creed 唱和

まちづくり委員会 委員長 蒲原 伸矢 君

### 3. JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和

国際・交流委員会 委員長 古賀 智博 君

### 4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和

ビジネス・防災対策委員会 委員長 飯笹 壽久 君

### 5. 議事録作成人及び署名人の指名

議事録作成人 総務・広報委員会

会員拡大・研修委員会 委員長 田中 徳晃 君

まちづくり委員会 委員長 蒲原 伸矢 君

### 6. 前回議事録の承認

### 7. 理事長挨拶

理事長 島内 陽輔 君

皆さん明けましておめでとうございます。本年一年どうぞよろしくお願いいたします。いよいよ2022年スタートしました。本日、審議事項にて各委員長の基本方針が審議されます。いろいろ意見等あるかもしれませんが、この理事会からしっかりその基本方針に則って2022年しっかりと運動をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。12月の第3回予定者会議から年末年始を経たのですが、それまで理事長予定者として、いろんな方とお会いして参りました。年末に知事と会う機会がございまして、常任の皆様にはお話しましたが、その中で佐賀青年会議所として日本青年会議所が主催する全国大会を招致しに行くということをお伝えさせていただきました。知事も前向きに考えて頂いております。早くて2025年ということをお伝えをさせていただいたのですが、それまでにホテルの方もいくつかできるということをお伺いしております。この全国大会ですが、やっぱり未だメンバーの中にはなぜ取りに行くかということが分かっていない方も多いと思います。全国大会を取りに行くというのが、経済効果が数十億円ということで、地域にとっての発展の機会でもあるのですけれども、一番はですね、佐賀青年会議所のメンバーにとって全国大会というのが、最大の成長の機会でもありますので、この全国大会を経験して頂いて、この佐賀青年会議所、そして佐賀市、小城市、神崎市に青年経済人によって発展の機を与えたいということ

で全国大会を取りに行きたいと考えておりますので、皆さんよろしくお願いいたします。そのために、やっぱり日本 JC とコミットして行かなきゃいけないと思っております。佐賀青年会議所からは園田副理事長、そして堤君が VC として出ていますけれども、メンバーにとっても、日本 JC の事業に対していろいろコミットしていかなければならないと考えております。その中で1月21日から始まる京都会議ですね。現在19名ぐらい参加者になっているとお聞きしていますが、私も2015年に委員長させて頂いたときに、初めて京都会議に行ったのですが、日曜日に会頭の挨拶がありまして、全国数万人が集まって JClcreed とかを唱和するのですが、凄いです。これだけのメンバーが集まってこれをするというのは、本当に日本 JC のスケールメリットを大きく感じたことを今でも覚えております。そういったことを委員長はじめメンバーに経験をして頂きたいと思っておりますので、現在19名ですけれども、この理事メンバーで皆さんに声を掛けて頂いて、より多くのメンバーを引き連れて京都会議に行っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。先ほどの全国大会の件ですけれども、いろいろシニアの方々、それと九地区の会長とも話をしたのですが、現役だけの問題ではなくて、日本 JC にもシニアクラブがありまして、そこに佐賀 JC のシニアのメンバーもコミットしていかなければなりません。具体的に言うと、現在シニアクラブに佐賀 JC シニアクラブから5名しか入っていないのですけれども、100名増やさなきゃいけません。今年、全国大会がある大分のシニアクラブのメンバーが118名ぐらい入ってらっしゃって、そこでコミットしていかなければ、全国大会も危ういということで、小原歴代その他歴代理事長にはお伝えしましたが、1月末にあるシニア総会に、100%メンバーを引き連れて伺って、シニアのメンバーにお願いをしたいと考えております。1月新年会、京都会議そしてシニア総会と、いろいろ忙しいですけれども、是非とも多くのメンバーに来て頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それとですね、このお土産ですが、私、多分5年ぶりぐらいに妻の実家の鹿児島に帰らせていただきました。私の大学受験の4日後ぐらいに新幹線が通ったんですけれども、大学受験の時ですね、多分4時間ぐらいかかったんですよ。新幹線が通ったら1時間ぐらいで着くぐらいの距離で、大学出てもう13年経っていますが、あそこの街の発展がものすごいんですよ。今まで駅の前は駐車場ばかりでしたが、ビルが建ったりだとか、いろいろな商業施設ができたりだとか凄く鹿児島は発展していると私自身感じております。それで、新幹線がいいかどうかというのは、今後の議論になりますが、佐賀にも西九州新幹線ということで今計画されていて、色々問題もありますが、佐賀 JC として、何か中立の立場で、佐賀にある課題というのを取り上げて、例えばアンケートをとるなどそういったことをして行政にアピールしても面白いのではないかと思いますので、その際は皆さんご協力をよろしくお願い致します。それでは結びとなりますが、2022年銀鱗躍動のよう、地域で勢いよく輝き続ける団体を目指すことを皆様にお誓いを致しまして、私からの年頭の挨拶とさせていただきます。それでは本日もよろしくお願いいたします。

## 8. 直前理事長挨拶

直前理事長 古川 健太郎 君

(割愛) ※遅刻のため

## 9. 出席者の確認

総務・広報委員会 委員長 古賀 修平 君

理事長	島内 陽輔 君	出席
直前理事長	古川 健太郎君	遅刻
特別顧問	江崎 正徳 君	欠席

副理事長	園田耕太郎	君	出席
副理事長	山口 寛彰	君	出席
副理事長	西村 誠剛	君	出席
副理事長	岩永 清邦	君	出席
専務理事	渡邊 雅夫	君	出席
監事	光吉 勝助	君	出席
監事	井内 政徳	君	出席
顧問	兵働 将崇	君	出席
顧問	吉村 篤	君	出席
常務理事	松並 陽一	君	出席
室長	畠中 隆嘉	君	出席
室長	溝口 貴将	君	出席
室長	久保 隆佳	君	出席
室長	船津 和弥	君	出席
室長	森 公照	君	出席
財政局長	片岡清治郎	君	出席
事務局長	菱岡 英貴	君	欠席
出向理事	古賀 久達	君	欠席
委員長	田中 徳晃	君	出席
委員長	蒲原 伸矢	君	出席
委員長	古賀 智博	君	出席
委員長	飯笹 壽久	君	出席
委員長	古賀 修平	君	出席

#### 《オブザーバー紹介》

まちづくり委員会	坂井 輝孝	君
まちづくり委員会	武田 星弥	君(遅刻)
総務・広報委員会	久米 雄大	君

#### 10. 議長選出

理事長 島内 陽輔 君

#### 11. 当日議題の採択

理事長 島内 陽輔 君

### 【審議事項】

#### ■ 第1号議案 2022年度 年間スケジュール(案)承認の件の件

総務・広報委員会

渡邊専務理事より説明

古賀委員長より説明

全会一致で可決承認

■ 第2号議案 2022年度 収支予算(案)承認の件

総務・広報委員会

渡邊専務理事より説明

古賀委員長より説明

本日、監査が終了し、金額が確定したことを説明

全会一致で可決承認

■ 第3号議案 2022年度 各委員会基本方針(案)承認の件

総務・広報委員会

渡邊専務理事より説明

古賀委員長より説明

渡邊専務より、全体の審議、可決承認をもって各委員会の基本方針も承認となることの補足説明

【兵働顧問】

会員拡大・研修委員会の年間事業フレームで、九州コンファレンスの開催場所が宮崎となっていますが、糸島ですので訂正をお願いします。

【古賀委員長】

田中委員長と確認を行い、訂正させていただきます。

全会一致で可決承認

【島内理事長】

では、代表して古賀委員長、今年の意気込みをお願いします。

【古賀委員長】

5委員会委員長が事業ベースも含めて連携しながら、67代島内理事長ひいては佐賀青年会議所を盛り上げ、そして佐賀を盛り上げ、全国大会を招致したいというところが端々に感じられるように展開して参りたいと思います。1年間よろしくお願い致します。

■ 第4号議案 2022年度 1月総会開催計画(案)承認の件

総務・広報委員会

渡邊専務理事より説明

古賀委員長より説明

【吉村顧問】

総会は、パワーポイント等で挨拶される方の名前を表示したりするのでしょうか。

【古賀委員長】

現時点ではパワーポイントを使用する予定はありません。レイアウト記載のスクリーンへのほうに web 参加される方の画面を映させていただきます。

【吉村顧問】

70周年に向けての活動指針の唱和はメンバーとしては初めてになるので、みなさんに分かるように案内が必要だと思います。紙ベースでもいいので準備していただければと思います。

【古賀委員長】

当日配布する紙資料の中に70周年に向けての活動指針も準備したいと思います。

全会一致で可決承認

【島内理事長】

古賀委員長、総会に向けての意気込みをお願いします。

【古賀委員長】

70周年に向けての活動指針は、オフィシャルな場での唱和は今回の1月総会が初めてになります。島内理事長体制のお披露目となる大事な場となりますので、準備を万全にして、これからの佐賀青年会議所の活動がより一層いいものになるということを打ち出せるような総会にしたいと思います。よろしくお願いします。

■ 第5号議案 2022年度 新年会開催計画並びに予算(案)承認の件

ビジネス・防災対策委員会

岩永副理事長より説明

飯笹委員長より説明

12月22日に対内向けの案内状を発送済みです。返信期限を今月6日しておりますので、出欠確認後、レイアウトを決めてく予定にしております。映像関係、オープニングのダンスについても打合せを進めております。

【片岡財政局長】

金額面は問題ありませんが、収支予算書の見積企業一覧表(様式5)の科目・細目は、収益・費用明細書(様式4)の科目・細目と統一して頂ければと思いますので修正をお願いします。

【飯笹委員長】

様式を合わせるよう修正します。

【島内理事長】

飯笹委員長、先程の修正点の確認をもう一度お願いします。

【飯笹委員長】

収支予算書の見積企業一覧表(様式5)と収益・費用明細書(様式4)について、科目・細目の記載を統一するという点です。

全会一致で可決承認

【島内理事長】

飯笹委員長、2022年度最初の対外的な事業となりますので、意気込みをお願いします。

【飯笹委員長】

2022年度佐賀青年会議所を見て頂く公の場となると考えておりますので、この1年間何をしていくか、佐賀青年会議所としての勢いというところをしっかりと対外に発信できればと思っておりますので、皆様ご協力をお願い致します。

■ 第6号議案 2022年度 2月例会開催計画並びに予算(案)承認の件

会員拡大・研修委員会

園田副理事長より説明

田中委員長より説明

園田副理事長より補足説明。予算がかかっていないため、『2月例会開催計画(案)承認の件』へ議案標題を修正

【溝口室長】

式次第中、10番の項目がずれているので修正をお願いします。案内文について、最後の行に青年会議所とあるのを佐賀青年会議所に修正をお願いします。

【田中委員長】

ありがとうございます。修正致します。

【吉村顧問】

ディスカッションのレイアウトを見ると、理事長・専務・直前・特別顧問・拡大担当監事で1つテーブルが設けられていますが、こちらも発表を行うのでしょうか。

【田中委員長】

発表はして頂きますが、審査の対象にはなりません。

【吉村顧問】

審査員となられる方々ですが、ここで話合われた結果も報告議案に記載して頂ければと思います。

【森室長】

式次第に70周年に向けての活動指針の唱和の記載がありませんので修正をお願いします。

【田中委員長】

ありがとうございます。記載するよう修正します。

園田副理事長より、資料修正のため10分間の休憩を提案。

<10分間の休憩>

【田中委員長】

式次第、案内文を修正致しました。皆様、貴重な時間を割いてしまい申し訳ありませんでした。

【兵働顧問】

会員に向けての案内文について、担当者の記載が重複しているようなので、修正いただければと思います。

【田中委員長】

ありがとうございます。修正致します。

【畠中室長】

補足です。案内文については様式を統一するということで話を頂いておりました。1月総会、新年会の方も同様の記載になっていますので、このままでもいいかと思いますがいかがでしょうか。

【兵働顧問】

様式を統一するということで理解しました。

【吉村顧問】

ディスカッションのときに広用紙を利用するということですが、広用紙については予算を組まなくて大丈夫なのではないでしょうか。

【田中委員長】

会館にあるものを使用しますので予算は必要ないものと考えています。

【吉村顧問】

会館にあることは私も把握しておりませんでしたが、専務があるということでしたらそれでいいかと思います。

【渡邊専務理事】

以前購入した分の在庫がありますので、それを使用して頂くようお願いしております。予算はかからないとの判断でお願いしたいと思います。

全会一致で可決承認

【島内理事長】

田中委員長、2月例会というのがメンバーにとっての最初の例会になりますので、それに向けた意気込みをお願いします。

【田中委員長】

2月例会は各委員長にお願いして、100%の参加を頂きたいです。私自身も委員長するまで会員拡大について真剣に考えたことがなかったというのは失礼なんですけども、この例会をきっかけにメンバーの皆さんにも入会案内の心得を学んでいただきたいと思います。貴重な時間を頂いてしまい申し訳ありませんでした。

## 【協議事項】

■ 第1号議案 2022年度 3月例会開催計画(案)について

国際・交流委員会

久保室長より説明

古賀委員長より説明

【吉村顧問】

こちらアンケートですが、対内向けにはありますが対外へのアンケートは実施しないのでしょうか。質問です。



【古賀委員長】

吉村顧問、ありがとうございます。対外・在留外国人の方へのアンケートにつきましては、現在講師の方とどういったアンケートにするのがよいか内容を打ち合わせています。

【兵働顧問】

行政の方へ提出するとあるが、どのようなアプローチ、具体的にどういうことをしようとされていますか。審議前には、しっかりお願いします。

【古賀委員長】

兵働顧問ありがとうございます。この場では言葉が出てこないんですけど、紙面にまとめてお渡しできればと思います。

【吉村顧問】

本日の打合せで、翻訳アプリを事前にダウンロードするように決まったと思いますが、当日 QR コードを机の上に印刷して置いておく等するとスムーズかと思いますので、ご検討をお願いします。

【古賀委員長】

ありがとうございます。承知いたしました。

【渡邊専務理事】

翻訳アプリに来られる方の国の言語が対応しているかは、事前に確認していますか。

【古賀委員長】

はい、そこは問題ありません。

【兵働顧問】

実施日時 19：30～と記載されていますが、終わりの時間まで記載をお願いします。

【古賀委員長】

兵働顧問ありがとうございます。対応いたします。

【森室長】

70周年に向けての活動指針を唱和する内容を追加ください。お願いします。

【古賀委員長】

森室長ありがとうございます。修正します。

【溝口室長】

「優しい日本語とは」が例会のタイトルとなるのでしょうか。例会をどういう内容にするか、わかりやすくタイトルをつけて頂ければと思います。また、人口減少予測の添付資料が2015年のデータになっているので、最新版を付けて頂ければと思います。

【古賀委員長】

溝口室長ありがとうございます。例会のタイトルは、多文化共生につなげていくことだと考えています。そのために優しい日本語を学んでいくことを周知したいと思います。タイトルをつける点、承知いたしました。添付資料に関しては、修正いたします。

【岩永副理事長】

意見3・4にひっかかる場所があり、行政に届けるとあるが、向こうが受け入れて活用してくれるか、すなわち行政課題と今回の内容がマッチングするかどうか重要です。古賀委員長としては、在留外国人に対しての行政課題とはどういったものと認識されてますでしょうか。精査をお願いします。

【古賀委員長】

岩永副理事長ありがとうございます。最新の話でいきますと、多文化共生がメインだと考えます。その他は、魅力ある佐賀をアピールしていき、在留外国人がきてくれる地域にすることだと思います。精査したいと思います。

【渡邊専務理事】

在留外国人は講師とともに入場されオブザーブ席に座っていただくのでしょうか。ちゃんとした席をレイアウトしていただければと思います。

講師と一緒に在留外国人に入場いただいて、講師のセミナーと一緒に聴くのでしょうか。同席して頂くのなら、一方的に講師の方が話をしても内容が理解できない可能性がある。講師の方と相談し、講演内容を協議ください。語学力を確認し、講演内容分からない方が来るのであれば、入場するタイミングを講演後にずらすことも必要かと考えます。

グループワークの時の在留外国人の方、だれがどのように座るのかを明確にしてください。できれば広くいろんな方と触れ合っていただけるレイアウトがいいと考えます。

常任理事予定者会議、理事予定者会議時にでた意見に対して、内容変更を検討し対応いただいても、現状資料の更新が無い状態となっている。話し合った結果を参考資料として添付してください。

在留外国人の方はどのように来られるのですか。学生の方多いと思いますので、配慮をお願いします。

【古賀委員長】

渡邊専務理事、ありがとうございます。在留外国人の席はしっかりレイアウトいたします。また、在留外国人の語学力を確認し、適切な対応を取ります。

グループワーク時の在留外国人レイアウトも検討したいと思います。常任理事予定者会議、理事予定者会議時にでた意見に対しては、対応結果を参考資料として添付します。

在留外国人の方の送迎についても検討いたします。

#### 【島内理事長】

古賀委員長お疲れ様です。2回目の協議で、まだ決まっていない部分があると思います。次が審議となりますので、その辺しっかり調べて議案にまとめて頂ければと思います。

また在留外国人の参加者が決まってきたと思いますが、在留外国人の方の語学力のレベル感の確認が必要だと感じています。そのあたりをしっかりと対応頂き、3月例会に臨んでください。よろしくお願いします。以上です。

#### 【古賀委員長】

ありがとうございます。議案についても分かりやすくメンバーに伝えられるものに修正していきたいと思っています。ありがとうございます。

### ■ 第2号議案 2022年度 4月例会開催計画(案)について

まちづくり委員会

溝口室長より説明

蒲原委員長より説明

#### 【吉村顧問】

ただいま講師の方の話をさせて頂きましたが、選定理由が書かれていないのでこの方の実績など書いて頂かないと本当に講師として良いのか判断出来ないと思います。そういう所をしっかり記載して頂きたいと思います。他にもいくつかありますが、まず、背景からコロナで活動する事が出来ないということですが、地域が抱える問題を集まって解決しようとしているのかなと思うので、新型コロナの影響と言う所とマッチしてないと思います。目的に関しても、「メンバーに対して」という文言は要らないと思うので削除して頂ければと思います。案内文は4月14日になっていますので、4月吉日にして頂いて、時候の修正なども常任の時点ですて頂くようをお願いします。

#### 【蒲原委員長】

ありがとうございます。協議内容に関しては詳しく記載するように致します。新型コロナに関しましてももう一度検討してしっかり構築したいと思います。案内文につきましても4月の吉日に変更したいと思います。

#### 【森室長】

70周年に向けての活動指針の唱和の追加をお願いします。講師依頼承諾書は添付してあるのが原本のPDFではないと思いますので、原本を添付して頂くようお願いします。

#### 【蒲原委員長】

ありがとうございます。原本ではないので原本で出し直します。活動指針の唱和も式次第に追加します。

【兵働顧問】

意見に対する対応を記載して頂いていますが、意見8に対する対応で「野見山様にお願いしています」とありますが、これは対応じゃないのかなと。これはお願いしてどうなったかを対応として記載頂きたいと思います。意見9で、「現実的に解決出来る内容考えてみます」とありますが、もう少し具体的にどのように考えたかなど丁寧な書き方をして頂きたいなと思います。あと、課題をみんなで考えましょうっていう例会ですが、地域がどういう現状でどういう課題があって例会をする必要がありますという書き方で書いて頂く方がいいかと思います。目的ですが、あくまで課題解決され、達成された状態を記載する所なので、考えて頂くことだけが目的なら例会をする意味があるのかなと不思議に思ってしまう。

また、細かい事ですけど、ディスカッションの時はレイアウト変更されるということですが、レイアウト変更する為の準備時間がタイムスケジュールにないような気がしますので、時間の記載が必要じゃないかなと思います。

【蒲原委員長】

内容に関しましては、具体的に訂正するように心がけます。背景と課題につきましても、もう一度精査致します。レイアウト変更の時間に関しても詳しく内容をシナリオに落とし込みます。

【渡邊専務理事】

厳しい事言って申し訳ないですが、今まで出た意見に対して全て検討しますと言ってしまうと、例会の手法の部分が何の為にやるのか全くもって分からなくなってしまいます。背景の動きから再検討するということになると、手法自体も変わってしまう可能性もありますので、しっかりとそこは2回目臨まれる時は、協議の段階ではありますが確定したもので背景、目的と手法というものがしっかりとロジック出来る様にして頂かないと議論の対象が無くなってしまいますのでそこはしっかりご検討して頂ければと思います。

先程の議案にもありました通り、意見に対する対応の部分を書いていくのであれば、議案上の何処に反映しているのか、答弁上でできるものなのか、資料でしっかり説明するものなのか、そちらを対応しなければ何処がどの様に対応しているのか分からなくなりますので、参考資料等ご検討頂ければと思います。

【蒲原委員長】

ありがとうございます。気を付けます。

【西村副理事長】

講師の先生に講演をして頂く内容ですが、講演の効果に記載がありますけど、話を聞いた中で佐賀青年会議所だから出来ることをディスカッションする内容だと思いますが、この講師の先生は我々佐賀JCの事をどの程度知られていますか。活動だったり、歴史だったりをどの程度ご存じなのかという質問です。

【蒲原委員長】

今回初めて野見山様とお話をさせて頂いて、野見山様が青年会議所とどれだけの付き合いがあるのか分からないですが、全面的に協力してくれると前向きにおっしゃって頂いていますので理解されていると思います。

【西村副理事長】

打ち合わせの中で色々話されるかと思いますが、是非ですね他団体とは少し趣旨が違うのが佐賀 JC ですの  
で、打ち合わせの中で周知して頂ければと思います。あと一点ですが、備忘録に12月の10日から記載がある  
のですが、聴きに行きますという記載だったんですけどいただきますという記載になっていますので、もうちょっと  
詳細に備忘録の記載をして頂ければどのように蒲原委員長が足を使って動いてるというのがメンバーに対して分  
かると思いますので詳細に記載して頂ければと思います。

【蒲原委員長】

ありがとうございます。しっかり記載致します。

【吉村顧問】

背景、目的、手法という所で大分変わってくるかもしれませんが、現状の所で手法を見させて頂いたら、目的か  
らですが、地域の課題というのがかなり広すぎて私も想像がつかない。もうちょっと絞ってまちづくりに特化した課  
題とかをここを書いてもらうイメージが持ちやすいので、ディスカッション内容も想像出来てくるのかなと思います  
ので、もうちょっと範囲を絞って考えてもらった方が良いのかなと思います。ディスカッション内容もボランティア団  
体の方がたや企業、行政にお願いしたい事ということでしたら、ボランティア団体などを呼んで佐賀 JC のメンバー  
とディスカッションしたほうが課題解決に繋がっていいと思いますし、行政と連携するには行政をそこに呼んで一  
緒にやった方が良いのかなと思いますので、その辺含めて、しっかり課題を絞ってその中で必要な団体呼んだ方  
が良いかなと思いますので検討して頂ければと思います。

【蒲原委員長】

ありがとうございます。しっかり絞って頑張ります。

【渡邊専務理事】

それでは蒲原委員長、資料の講師プロフィール等の記載がしっかり出来ていないと言う事で、西村副理事長の  
ご意見にもあった通りこの方が本当にテーマに沿って青年会議所の例会でどの様な話をして頂けるのか、適任者  
なのかということを協議しようがない。この内容自体ももう少し協議をする必要があると、講師依頼承諾書には私の  
CSO 活動佐賀子供未来応援プロジェクトについての意見を書いてありますけど、手法でそう言うことは一切書か  
れていなくて、考えられている背景の部分とそれに応じた手法の部分が一切ロジックしていないように見えます。  
しっかり考えている事があるのであれば、しっかりとお調べ頂いて講師の方がテーマに沿って話をして頂ける方な  
のか、はたまた他の方を呼んだ方が目的を達成出来る事なのかという所をしっかり気合を入れて頂かないと内容  
に対する協議がしにくくなりますので、2回目の協議で同じ様な事になりますと協議が出来ませんのでそこはしっ  
かりと皆さんで協議して頂いて、内容に対してのご意見が出るように持って行って頂ければと思いますので宜しく  
お願いします。

【島内理事長】

意見があったので対応して頂ければというのがありますが、目的が、メンバーに対し佐賀の地域にある問題や課題を考えて頂く事を目的としますと言う事で、内容がこちらになっていますが、この講師だけの話だったら問題や課題を解決する方法を講演頂くのかなという風に見えてしまうので、吉村顧問からあった通りボランティア団体とか市役所の方を呼んで、地域にどう言った課題があるかということを事前に調べた上で、それに対するディスカッションした方が良いのかなと思います。今の内容だと目的の達成出来ないのかなと考えてしまうので、そこら辺しつかり詰めて調べて頂いて4月例会をより深く考えて議案を書いて頂けたらと思いますので、よろしくお願い致します。

《出席者の再確認： 古川直前理事長到着》

## 【討議事項】

なし

## 【報告事項】

- |          |                                   |            |
|----------|-----------------------------------|------------|
| ■ 第1号議案  | 公益社団法人日本青年会議所 2022年度会頭所信          | 総務・広報委員会   |
| ■ 第2号議案  | 2022年度 理事長所信について                  | 総務・広報委員会   |
| ■ 第3号議案  | 2022年度 組織図について                    | 総務・広報委員会   |
| ■ 第4号議案  | 2022年度 輪番表について                    | 総務・広報委員会   |
| ■ 第5号議案  | 2022年度 京都会議について                   | まちづくり委員会   |
| ■ 第6号議案  | 2022年度 佐賀青年会議所シニア・クラブ総会及び懇親会について  | 国際・交流委員会   |
| ■ 第7号議案  | 2022年度 厄入厄晴祈願について                 | 会員拡大・研修委員会 |
| ■ 第8号議案  | 2022年度 仮会員研修について                  | 会員拡大・研修委員会 |
| ■ 第9号議案  | 2022年度 新入会員募集について                 | 会員拡大・研修委員会 |
| ■ 第10号議案 | SNSアカウント運用状況について                  | 総務・広報委員会   |
| ■ 第11号議案 | 理事会オブザーブ参加推進およびLOMセクレタリー担当の輪番について |            |

総務・広報委員会

■ 第12号議案 アジェンダシステムの検討について

総務・広報委員会

■ 第13号議案 会館清掃および潮音寺清掃輪番表について

菱岡事務局長(代理 古賀委員長)

■ 第14号議案 その他

16. 次回開催日程について

総務・広報委員会

- ・第2回 常任理事会 1月20日(木) 19:30～
- ・第2回 理事会 2月02日(水) 19:30～

17. 審議事項決定の確認

総務・広報委員会

18. 出席者の再確認

総務・広報委員会

19. 監事講評

監事 光吉 勝助 君

皆様、改めまして明けましておめでとうございます。監事の光吉です。今年一年、島内理事長のもと頑張っておりますので、よろしくお願い致します。まず、審議事項にありました委員長の皆さんの基本方針ですね、去年の時点で大変苦勞なされて、理事長所信のもと作り上げた基本方針だと思います。審議通過おめでとうございます。今年一年、基本方針を基に委員会メンバーと事業だったり、例会通してメンバーに対する学びだったりを構築して頂けるものと願っております。今日は、オブザーブの久米君、坂井君ご参加ありがとうございます。1月理事会と、最初の理事会ということで、時間は少し押しましたがある程度スムーズな進行だったと思います。審議中に、文言の精査だとかで多少時間がかかったところもありましたが、委員長の皆さんは議案を精一杯作ってくるわけですから、常任理事会の皆さんに置かれましてはしっかりとフィルターを通して頂き、文言の修正等は理事会まで済ませて頂ければと思います。それが理事会のスムーズな進行に繋がるとしますのでよろしくお願い致します。先程、理事長が言われたとおり最初のセレモニーは少し元気が無かったと思います。委員長の皆さんは、今年はみんな元気な方々だと伺っておりますので、元気な声で発信して頂けることを願っております。よろしくお願い致します。それから、全国大会招致の件に関しましても、物凄くパワーを必要とすると思います。そういった細かいところを一つ一つ徹底して頂ければ、次年度に招致のための勢いというものを引き継いで行けるのではないかと思いますのでご協力をお願い致します。以上で監事講評とさせていただきます。ありがとうございます。

監事 井内 政徳 君


皆様第1回の理事会お疲れ様でした。本年度も一年間、どうぞよろしくお願い致します。予定者の時から言っておりますが、私、上程台に一番近いのですよね。ただ、何と言っているか聞こえない委員長がまだいらっしゃいま

すので、上程台ではハキハキと元気よくやっていただきたいと思います。また、予定者の頃からですが、吉村・兵働両顧問の劇場になっておりますけど、それに負けずに委員長の皆さんもしっかりと活発な意見を出して頂きたいと思います。これ何故言うかという、委員会を代表して議決権を一つ持って理事会に参加しているわけです。ですので、他の委員長が言われていることもしっかりと聴いて頂いて、メモを取って、来週から委員会クールが始まりますので、そこでしっかりと委員会メンバーに説明できるように、次回からしっかりメモ等を取って頂ければと思います。議案に関してですが、まず意見に対する対応で、「修正しました」、「添付しました」、「精査しました」と一行だけで書かれているものが散見されます。これ先ほどどなたかもおっしゃいましたが、事業内容を修正しましただけでなく、事業内容はどこをどういうふうに変更しましたと書けば、そこを見れば一瞬で分かりますので、その辺をしっかりと心がけて議案を作って頂ければと思います。また、審議の際にも、「作成します」とか「作成中です」という文言が残っているのが散見されます。例えば、動画を作成中ですとか。ですが、もう審議の段階だって話なんですよね。本来、自作の制作物は審議対象の資料として出す必要があると思いますので、パワーポイントや動画ですとか、当日使う資料の作成は大変だと思いますが、ある程度の形にして参考資料にはせめて付けて頂きたいと思います。実際に予算を使って外注する場合は、絵コンテにして、こちら審議資料となりますので、そちらのルール統一をよろしくお願いします。以上、監事講評とさせていただきます。長時間お疲れ様でした。

## 20. 閉会の辞

副理事長 岩永 清邦 君

議事録署名人

蒲原伸矢   
田中徳晃 